

平成 19 年 8 月 23 日

オリент総合研究所 調査レポート

ブライダルに関する消費者動向

婚姻件数が年々減少していく中、2000 年以降売上高が減少していた結婚式場業であるが、2006 年に前年比プラスとなり 2003 年以来 3 年ぶりに 2000 億円を突破、市場は回復の兆しを見せている。

この状況の下、消費者のブライダルに対する実態を会場選びや費用の面から調査した。

◆ 調査概要

調査期間:2007 年 5 月 21 日～22 日

調査方法:インターネットリサーチ

調査対象:過去 1 年以内に結婚式・披露宴を挙げた、または今後 1 年以内に結婚式・披露宴を挙げる予定の全国の男女 515 名

株式会社オリент総合研究所

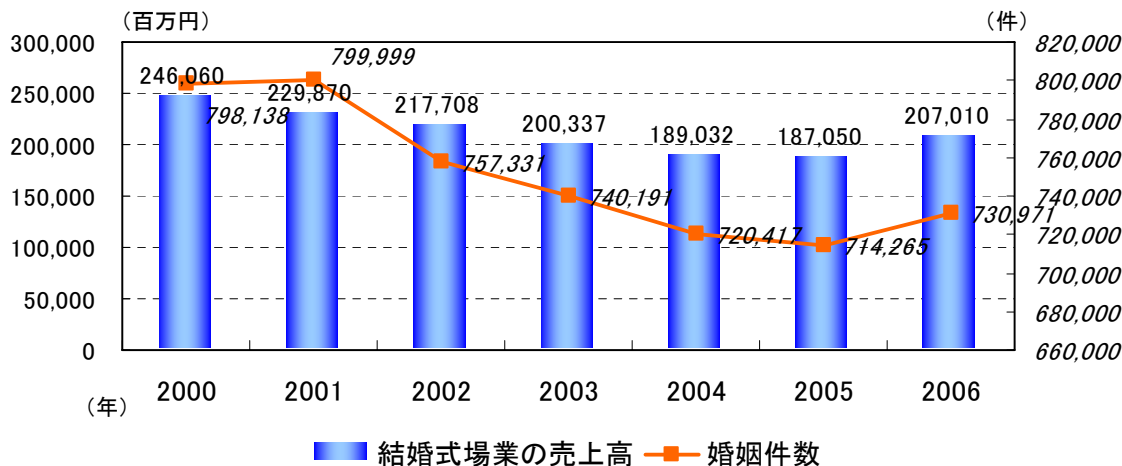
調査研究部

<http://www.orico-research.co.jp/>

◆婚姻件数は減少傾向続くも、市場規模に回復の兆し

晩婚化の傾向や未婚者の増加が言われている中、厚生労働省「人口動態調査（平成18年）」をみると、全国の婚姻件数は2000年より減少を続けていたが、2006年度に前年対比プラスとなった。結婚式場業の市場規模も婚姻件数と同様の推移をみせていたが、2006年に前年対比プラスとなり3年ぶりに2000億円を回復した。

図表-1 結婚式場業市場規模と婚姻件数推移



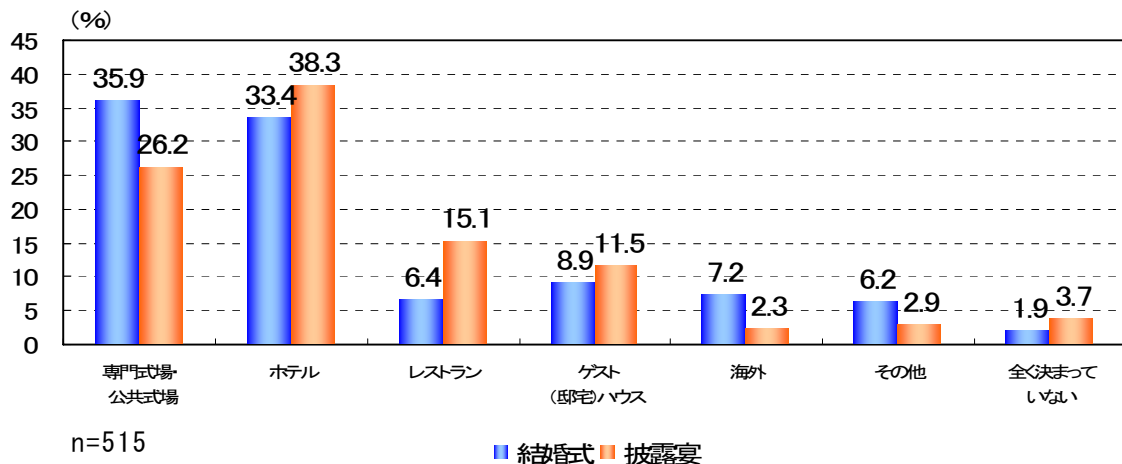
(出所：厚生労働省「人口動態調査（平成18年）」および経済産業省「特定サービス産業動態統計調査（長期データ）」)

◆結婚式場は専門・公共式場、ホテルが依然人気

Q. 結婚式・披露宴はどのような会場で挙げる予定ですか。(もしくはどちらで挙げましたか)

レストランやゲストハウス等での結婚式等、消費者の会場選びの選択肢は増えているが、依然として専門式場やホテルの人気は高い。

図表-2 結婚式・披露宴を挙げた(または挙げる予定)の会場

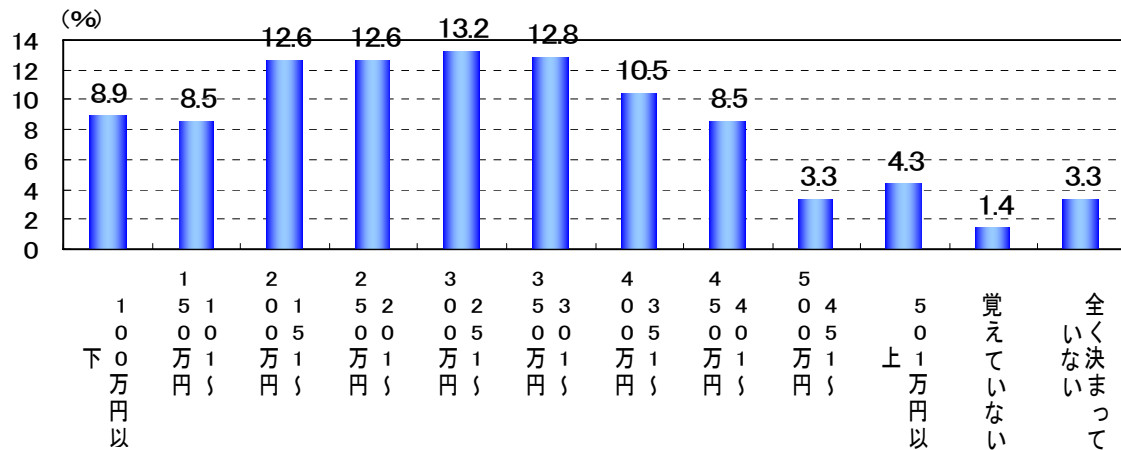


◆かかった費用は 251～300 万円が最多

Q. 結婚式・披露宴にかける（かかった）費用（総額・税込み）はどのくらいですか。（もしくはどのくらいでしたか）

151 万円以上から回答者数の割合が増加、251～300 万円が最多となっている。401 万円以上出費をする（またはした）回答者も全体の 15% 以上存在する。

図表－3 結婚式・披露宴の費用



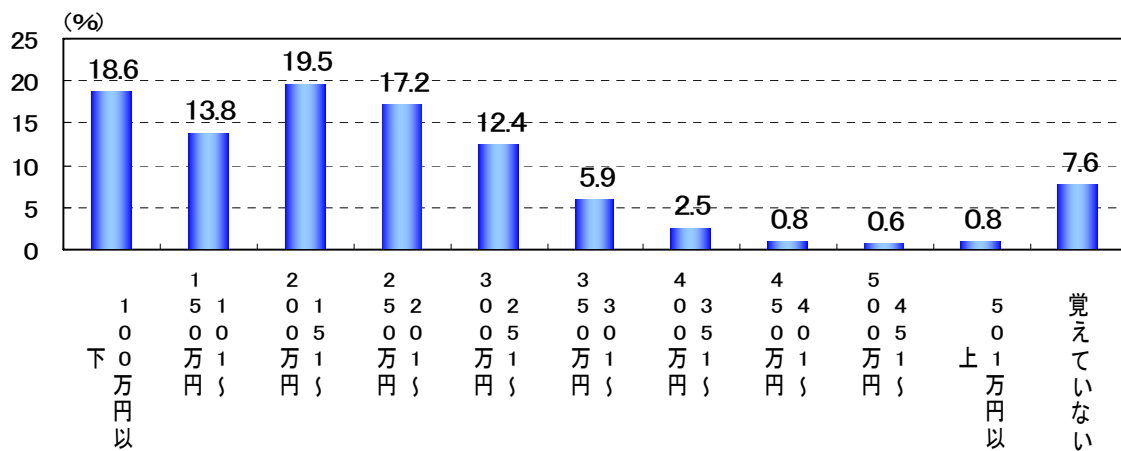
n=515

◆ご祝儀の金額はかかった費用よりも少ない傾向

Q. ご祝儀(お祝い金)の金額（総額）はどのくらいでしたか。（過去 1 年以内に結婚した方）

ご祝儀の金額は 151～200 万円が最多帯。結婚式・披露宴にかかった総費用と比較すると差がある。

図表－4 ご祝儀の金額



n=354